

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公表番号】特表 2002-522826 (P2002-522826A)
 【公表日】平成 14 年 7 月 23 日 (2002.7.23)
 【出願番号】特願 2000-564129 (P2000-564129)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

G 0 6 F 12/16 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 1 0 K

G 0 6 F 12/16 3 1 0 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 21 日 (2006.7.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

コンピューティング装置 (100) とテープドライブ装置 (140) とを備えたシステムにおいてデータ復元操作を実行する方法であって、前記コンピューティング装置 (100) が、テープドライブ装置でない種類の初期プログラムロード装置からブートすることが可能なものであり、前記テープドライブ装置 (140) が、第 1 及び第 2 のモードで動作するように構成されており、該第 1 のモードでは、該テープドライブ装置 (140) は、それ自体を前記コンピューティング装置 (100) に対して前記の種類の初期プログラムロード装置として識別させると共に該コンピューティング装置 (100) と相互作用し、前記第 2 のモードでは、該テープドライブ装置 (140) は、通常のテープドライブ装置として挙動し、該モードの一方又は他方での動作を選択的に生じさせる手段 (150) が該テープドライブ装置 (140) に配設されており、該方法が、

前記の種類の初期プログラムロード装置からの前記コンピューティング装置 (100) のブート時に該初期プログラムロード装置が該コンピューティング装置 (100) へ提供することになるものに対応するバックアップデータセット (325, 355) 及びブート可能データ (305, 345) の両方をテープ媒体 (300, 330) に格納することにより復元用テープ媒体 (300, 330) を作成し、

前記コンピューティング装置 (100) のブート処理を開始させて該コンピューティング装置 (100) に前記の種類の初期プログラムロード装置の探索を試行させ、

前記テープドライブ装置 (140) を前記第 1 のモードで動作させて、該テープドライブ装置 (140) がそれ自体を前記コンピューティング装置 (100) に対して前記の種類の初期プログラムロード装置として識別させると共に該コンピューティング装置 (100) により発見させ、該コンピューティング装置 (100) が該テープドライブ装置 (140) から前記ブート可能データ (305, 345) を読み出してブートし、

前記テープドライブ装置 (140) を前記第 2 のモードで動作させて、前記コンピューティング装置 (100) が該テープドライブ装置 (140) から前記バックアップデータセット (325, 355) を復元させる、
 という各ステップを有する方法。

【請求項 2】

前記ブート可能データ(305,345)が、C D - R O M装置のためのIS09660フォーマット及びEl Torito ブート可能C D - R O Mフォーマット仕様に準拠する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ブート可能データ(305,345)が、その実行時に、前記コンピューティング装置(100)が前記テードライブ装置(140)にアクセスして該テードライブ装置(140)に装填された前記復元用テープ媒体(300,330)から前記バックアップデータセット(325,355)を復元することを可能にする、データ及び/又はファイルを含む、請求項1又は請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記ブート可能データ(305,345)が、前記復元用テープ媒体(300,330)において前記バックアップデータセット(325,355)の前に配置される、請求項1ないし請求項3の何れか一項に記載の方法。

【請求項5】

請求項1ないし請求項4の何れか一項に従って動作するよう構成されたコンピューティング装置(100)。

【請求項6】

データ復元操作での使用に適したテードライブ装置(140)であって、該データ復元操作が、コンピューティング装置(100)のブート処理を含み、該コンピューティング装置(100)が、テードライブ装置でない種類の初期プログラムロード装置からブートするよう構成されており、そのブート動作が、前記テードライブ装置(140)に挿入された復元用テープ媒体(300,330)を使用するものであり、該復元用テープ媒体(300,330)が、前記の種類の初期プログラムロード装置からの前記コンピューティング装置(100)のブート時に該初期プログラムロード装置が該コンピューティング装置(100)へ提供することになるものに対応するバックアップデータセット(325,355)及びブート可能データ(305,345)を含み、前記データ復元操作が更に、前記テードライブ装置(140)を使用してバックアップデータセット(325,355)を復元することを含み、該テードライブ装置(140)が、

装填された復元用テープ媒体(175)の位置及び動きを制御する機構(180)と、

該復元用テープ媒体(175)と前記テードライブ装置(140)との間でデータ転送を行う読出/書込回路(165)と、

前記テードライブ装置(140)と前記コンピューティング装置(100)との間でデータ転送を行うインタフェイス(145)と、

前記テードライブ装置(140)の動作を第1のモード及び第2のモードで制御するよう構成されたコントローラ(150)であって、該第1のモードでは、該テードライブ装置(140)が、それ自体をあたかも前記の種類の初期プログラムロード装置であるかのように前記コンピューティング装置(100)に識別させると共に該コンピューティング装置(100)と相互作用して、該コンピューティング装置(100)のブート処理を容易にし、前記第2のモードでは、該テードライブ装置(140)が通常のテードライブ装置として挙動して、前記コンピューティング装置(100)へバックアップデータセット(325,355)を復元する、コントローラ(150)と、

前記モードの一方又は他方で前記テードライブ装置の動作を選択的に生じさせる手段とを含む、テードライブ装置(140)。

【請求項7】

前記第1のモードで、前記コントローラ(150)が、前記コンピューティング装置(100)からの装置タイプ問合せ信号に応じて、前記テードライブ装置(140)を前記の種類の初期プログラムロード装置として識別する応答を生成し、及び前記装填された復元用テープ部媒体(175)をブート可能データ(305,345)を含むものとして識別するよう構成される、請求項6に記載の装置。

【請求項8】

ユーザによる操作に応じて前記テープドライブ装置(140)を前記第1のモードで動作させるユーザ選択手段を更に含む、請求項6又は請求項7に記載の装置。

【請求項9】

前記ユーザ選択手段が、前記テープドライブ装置のイジェクトボタンを含み、前記コントローラ(150)が、前記テープドライブ装置(140)の電源投入又はリセット動作時に前記イジェクトボタンのユーザによる操作を検出するように構成される、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記の種類の初期プログラムロード装置がC D - R O Mドライブである、請求項6ないし請求項10の何れか一項に記載の装置。